



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

**MANKIND IS ONE—
Build Bridges of Friend Ship
Throughout the World**

**人類はひとつ
世界中に友情の
橋をかけよう**

1982~'83 R.I 会長 向笠広次
寺田会長 クラブターゲット 大切にしよう 好い仲間と 愛するクラブ

第 222 回 例会 57 年 11 月 25 日 第 228 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
47 名	38 名	84.44%	100%

欠席者

合田、細野、池田、三浦、中西、鈴木、山中
(病欠承認者 2 名)

本日のプログラム 12 月 4 日
2 クラブ合同例会

次 週 予 定 12 月 9 日
「コンピューターの役割」
パナファコムOA推進部長 前田公彦氏

司会 SAA 辻 国明君

ソングリーダー 上田利久君「それでこそロータリー」

< ゲ ス ト >

長井盛至氏 (横浜南 RC 初代会長)

< ビ ジ タ ー >

仁科真人君 (横浜瀬谷)、山崎 健君 (厚木中)
河野重康君、黒川 孝君、花岡 正君 (大和)

< 会 長 報 告 >

会長 寺田 伍六君

①次年度理事役員の候補者指名に当り、当クラブ
指名委員会は、皆様にお配りした書面のとおり、
1983 ~ 84 年度大和中ロータリークラブ理事役員の
候補者として指名しました。尚決定には、12 月
4 日総会において承認を計ります。

②12 月 4 日の合同例会の演芸会では、グループ別
作戦会議等を開いて頑張ってください。

③米山記念奨学生の舒君を自動車部品工業の研修
生として採用して頂く様に、近くクラブより推薦
状を出します。

④石渡会員が御承知のとおり、桜ヶ丘中央病院に
入院されていますが、その後経過が順調で月末に
は退院とのことです。

⑤過日來訪された東白川 RC 杉浦会員より、パナ
ーが届けられました。また上村会員より大阪天満橋
RC のパナーが届いていますので一緒に回覧しま
す。

< 幹 事 報 告 >

幹事 郡司 守君

①次回例会12月2日は、12月4日(土)18時より
行われる大和RCとの合同例会のため振替え休会
となります。またその会費を本日から事務局で集
めますのでお願いします。

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中心 1-5-40
大和 市 商 工 会 館 内
☎0462-63-7926
例会場：大和 市 大 和 南 1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会 長：寺 田 伍 六 君
会長イレト：長 谷 川 清 一
副 会 長：猪 熊 唯 夫 君
幹 事：郡 司 守 君
会報委員：伊藤(宣)・後藤・富沢

②第279地区年次大会の案内が来ていますので
覧します。

＜委員会報告＞

会員増強委員会 委員長 大高 安男君

ガバナーより、年度初の10%の会員増強をお願い
したが微増なので更に頑張っていたきたい旨
の要請が来ています。尚当クラブはあと3名なの
で、各グループの方々は協力をよろしく願いま
す。

親睦活動委員会 副委員長 橋本 健彦君

①12月4日の合同例会の親睦余興大会は、会員
の力を結集して、最大限に楽しく過ごして頂き
たいと思います。尚大和クラブとの打合せがあり
ますので各グループの親睦委員は、例会後自分
達の演し物を報告して下さい。

②本日のお祝いの人々を紹介します。

御夫人誕生日 高橋君瑠璃子夫人(11月29日)

結婚記念日 古田土勝美君(11月25日)

古川 厳君(11月27日)

富沢 重徳君(11月29日)

米山記念奨学委員会 委員長 竹之内弘美君

地区からの通知で、米山功労者への協力要請が
来ています。特別寄付金の年内納付なら本年の
税金控除の対象となるそうです。

あすへの話題

韓国は隣の国であるし、両国間のことは非常
に身近な問題なのである。

折から「日韓合同古代史シンポジウム」が
開催され、そのなかで古代史の謎を解くさま
ざまの問題が投げかけられたが、それを通し
ても、日本と韓国の間が一衣帯水というより
も、本当に「兄弟」だということを改めて痛
感した。韓国側の学者のあいさつに、「韓国
のことわざで、いところが水田を買ったので、

自分の腹が痛むというのがあるが、これは近
い間柄だからこそ素直になれない感情をあら
わしている」という言葉があったが、長い歴
史の流れの中において、この微妙な感情がい
かに両国の間を左右してきたか、思い知らさ
れる。

私が親しくしている方が、太宰府に來られ
て朝鮮式山城・大野城に登られた時、その礎
石に手を触れ、「祖先の心がよみがえってき
ます」と言って涙された姿が、今も鮮明に私
の脳裏にある。その後親しく往来するうちに、
扶余と太宰府は姉妹都市の縁組をした。

淡い淡い夕焼けの扶余のまちを、私達は散
策した。白馬江の流れは人間のちっぽげなわ
だかまりを、悠久の彼方へ流してしまうよう
であった。仏教伝来記念碑の前にたたずみ、
かって聖明王が日本へ仏教を伝えたことのい
かに大なることであったかに思いをはせた。
やがて、とっぷりと闇が私たちを包むまで、
二人は尽きることない両国親善の歴史を語り
あった。(新聞記事より抜粋)

＜卓話＞ 米山梅吉と日本のロータリー 長井 盛至氏

私は24年前にロータリーに加入していますが、
その後もロータリーには色々動きがあり、決して
同じところに留まらず、何か新しいものを求めて
動いていく状況があります。しかし最近のロータ
リーは変だと私は思います。ロータリーの定款を
見ても、職業奉仕はどう、また親睦を図れ等とあ
りますが、人間としてどうあるべきかには何も触
れていないからであります。皆さん御存知のと
おりロータリーは一業種一人ですが、その職業に
ついてはエキスパートでそこに達するまでには大
変な苦心があったはずで、その皆さんが例会で
話しあうことで人間形成が出来る場所である訳
です。だから例会でヒヤリングすることが大事で、
それぞれの立場経験を勉強して話し合うべきで、
ただ出席しただけではなにもならない訳であり
ます。

このように私は、ロータリーは人間形成、人間道場だと考えています。佐藤パストガバナーは「ロータリーは人を造る」で、根本の人間教育を抜きにして奉仕を論ずることなど漫画に等しい愚行だとしており、当時のロビンス R I 会長の言葉を借り、ロータリーの第一の仕事は人を造ることで、これ以上の奉仕などはない、よりよい私とあなたを造ること、ロータリーの存在の目的はこれ以外にないとしています。まさにその通りだと思えます。またカリフォルニアのロータリアンであり、その地の市長でもあった H、クリーガーは、ロータリーは地域から尊敬されるものにならなければならないが、その為には、1 に Stature (高邁さ)、2 に decency (気品)、3 に good will (親切心)、4 に ability (能力・実行力) を、各ロータリアンが備えなければならないと言っていますが、これは我々も考えなければならない問題だと思います。

さて米山翁の生涯を追って見ますが、生れは明治元年で藩士の子供でしたが、父が早く死亡したので三島に移り小学校を卒え、沼津中学に学びました。大変頭の良い人であった為に向学心に燃え東京に出て行き、いろんな学校に学び最後は東京英和学校で英語を学んだ末、これからはアメリカで学ばなければならないということで、その後の 8 年間を単独で米国に留学し苦学した訳ですが、このことは当時の状況では誰でもが出来ることではありませんし、大変な実行力があつた訳であります。帰国後新聞記者になろうとしましたが、当時の新聞はまだごく一部のみにしか読まれていなかったもので、収入の面であきらめました。またその間には書物を書いてみたらどうかということで、晩年の勝海舟との親交も得たりして勉強しています。そしてその後知人の紹介で、これからは財界の時代だと勧められ、三井銀行に入社することになります。そこでも果敢に勉強した結果どんどん出世し、35才で支店長、38才には横浜支店長、この年にポールハリスがロータリークラブを作っていますが、

そして40才には重役となります。その後彼は日本政府の経済財政使節団の一員としてアメリカへ渡りますが、その時ダラスでロータリーの話聞き、ポールハリスに感心して、日本に帰ってから苦心の末に24人のチャーターメンバーを集め、大正9年に東京にロータリーを作った訳であります。当時このメンバーは、英語が出来る人を条件と考えたようで、大臣クラスの人達によって構成されていたので、日本のロータリーはエリートの集団で始まった訳で、同じようなクラブが大阪、神戸という順でどんどん出来ました。また彼は最後に三井報恩会を作り、日本の遅れた衛生思想の普及や施設の充実を図ることに努力しましたが、特に癩病や精神病の施設に力を尽す等他の人にはとても出来ないことを勇気をもって実行しました。また科学技術への研究費を惜しみなく増やしましたが、これが今日の日本の工業界の発展の礎ともなった訳であります。更に貧しい農村の問題にも手をつけ、農業の振興にも意を尽しました。それに苦学生にも大変な援助の手を差しおのべましたが、決して恩をさせるようなことをしませんでした。このように彼は、既にその昔から日本のロータリーの自主的な運営を考えて、行動し実践して来た訳であります。日本には日本の歴史風土があり、考え方もあるので、R I の通りにはならないという考えを早くから貫いていたのであります。我々も米山時代の原点に、もう一度返る必要があるように思われるのであります。

※長井盛至氏略歴※ 明治34年長野県に生れ、慶大医学部卒業後病院勤務、後に南横浜病院長、昭和32年神奈川文化賞、同47年勲二等を受賞した。ロータリー歴は、昭和32年横浜 R C 入会後横浜南 R C 初代会長、特別代表、分区代理等を歴任、米山功労者、ポールハリスフェロウである。著書の「米山梅吉と日本のロータリー」は、日本のロータリーの歩みがわかる名著である。

ロータリー・インフォメーション⑥

例会出席について

“奉仕の冒険”ロータリーの文献の一つであって、重要なものである。この文献は1960年に改訂されたのであるが、それ以前の旧版に、クラブ例会への出席がいかに重要なものであるかを巧に説明した一文があった。

即ち“あなたが例会に出席しているということは、あなたのためにも、またクラブの各会員に対しても大きな価値のあることなのである。この出席によって、あなたはロータリーの親交、クラブでの活動、他の人々との交友的接触というような利益を完全に受けることができるので、また同時に他の会員の方もあなたの事業或は職業からの利益を受けることになるのである。かくてあなたが出席することとは、そのクラブをその社会の事業及び職業生活の真の断面とすることを助けて、クラブが円滑に、効果的に運用されるようにするのである。然し、もし欠席したとすれば、至るところでのロータリー生活であるべき友好、個人的接触、及び職業代表をあなた自身及び他の会員から奪い去ることになるのである。

ロータリーの標章である歯車をごらん下さい。この車の周辺には24の歯がある。全ての歯が存在する限り、この歯車は他の歯車とかみあってその動力を伝えることができる。然し、僅か一つの歯を失っても歯車の効率は損われ、ことによると動かなくなるかもしれない。あなたが常に例会に出席することは、即ちその社会における一つの効果ある力として、そのクラブが充分機能を発揮する状態を保つ一つの歯そのものなのである。”

欠席すれば自分さえ損をすればいいという

のではない。他の会員の受けるべき利益を奪うことになるのである。そんな迷惑を他人に掛けていいと思いますか。

川崎 R. C 笹部 誠著
「ロータリーあれこれ」より

〈スマイルボックス〉

委員 大高 安男君

厚木中RC 山崎会員 初めまして、よろしくお願い致します。

大和RC 花岡会員、黒川会員、河野会員 お世話になります。よろしく。

寺田会長 横浜南クラブ創立会長の長井先生には遠路を御越し下され、誠に有難うございます。米山翁のエピソードなどお聞かせいただく事を、私共楽しみに致しております。

郡司幹事 大変遅くなりましたが、去る¹⁰/₂₁の箱根湯本一泊例会精算がつかしました。少々残金が出ましたので、皆様の会費を勝手ですがスマイルさせていただきます。

小島君 11月18日に新しく入会致しました。よろしく御指導下さい。

松崎君 急用の為、帰らなくてはなりません。よろしくお祈りします。

高橋君 ①女房の誕生日のお祝い有難うございます。

②布施さん先日は、我々の会の研修会に、会場を提供して頂き有難うございました。

富沢君 結婚祝を頂き有難うございます。尚今日は所用の為早退します。お許し下さい。

古田土君 結婚記念、祝っていただき有難うございます。今後共皆様よろしくお祈り致します。

古川君 ①結婚記念日のお祝い頂きまして有難うございます。21年間も一緒に居たなんて考えられません。銀婚式までがんばります。

②本日は遅れて申し訳ございません。